

兵庫県音楽療法士活動状況調査結果の概要

兵庫県保健医療部医務課

1 調査の概要

- ① 調査の趣旨 兵庫県音楽療法士の活動状況を把握し、県内の医療・福祉施設等に対して音楽療法の普及推進を図るため。
- ② 調査対象 兵庫県音楽療法士 307 人（認定者 425 名中更新していない者等 118 名を除く）
- ③ 調査方法 E-mail・郵送により依頼。E-mail・郵送により回答
- ④ 調査時期 令和5年6～8月
- ⑤ 回収数・率 241人（79%） ※前年度回収率 73%

2 回答者の状況（令和5年8月現在）

(1) 認定年度別 (人)

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
人数	17	23	13	12	16	14	12	7	7	15	14	14	7	8	10	8	6

H30	R1	R2	R4	計
8	18	1	11	241

(2) 居住地域別 (人)

圏域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	県外	計
人数	97	39	25	18	7	20	7	4	7	4	13	241

3 兵庫県音楽療法士としての活動

(1) 活動の有無

①現在活動している	②活動していない (再開予定あり)	③活動したいが 活動できていない (再開予定なし)	④今後活動希望なし
196 (81%)	18	22	6

(2) (1)の②～④のうち、活動していない理由（複数回答）

①仕事の多忙・ 常勤の職を得た	②家庭の事情 (子育て・介護等)	③本人の事情 (高齢・病気等)	④コロナの影響等で 施設が受入をやめた	⑤活動先が 見つからなかった	⑥その他 (転居・退職等)
12	16	6	21	4	6

(3) (2)のうち、今後活動を再開するにあたり必要だと思うもの（抜粋）

<ul style="list-style-type: none"> ・活動先施設を紹介してほしい（7人） ・知識・スキル等が遅れているので研修等あれば希望したい（4人） ・（コロナで受入がされてないので）施設側の受入許可 ・情報共有ができることよい

(4) 活動先をどのようにして見つけたか（複数回答）

①資格取得前から勤務/ アシスタントで関わっていた	②先輩・知人からの 紹介	③求人を見て応募	④県療法士会に相談	⑤自営	⑥その他
98	130	17	36	27	48

- ⑥その他の主な理由：音楽療法普及・定着強化事業を使った（7名）
自ら施設と交渉した（6名）、自分のセッションを見た施設から依頼された（5名）

4 音楽療法の実践状況（令和4年度活動実績）

【3（1）にて「現在活動している」と回答した196名に対し調査】

(1) 医療・福祉施設 ※高齢者施設数が増（R4：211か所） (延べ人数)

	施設数	対象者（集団）数		備考	
		個人対象	集団対象		
医療施設	か所 24	人 88	組 46	人 937	一般病院、精神科病院、 リハビリ病院、ホスピス等
高齢者施設	270	71	477	8,042	特別養護老人ホーム、 デイサービスセンター等
障害児（者）施設	246	130	420	4,363	通所支援事業所、生活介護 事業所、就労継続支援事業所等
計	540 (療法士1人あたり2.8)	289	943	13,342	

(2) その他 (延べ人数)

	実施箇所数	対象者（集団）数		備考	
		個人対象	集団対象		
学校・保育所・幼稚園、 児童館、開業療法室等	か所 16	人 0	組 28	人 592	未就学児・児童・青少年等
自主グループ	26	11	39	370	障がい者親子自主グループ等
自宅	34	52	5	25	対象者自宅、療法士自宅等
その他（市町介護 予防等含）	46	29	128	1,643	地域拠点型一般介護予防等
計	122	92	200	2,630	

(3) 地域別実施箇所数（複数回答）

圏域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	県外	計
箇所数	259	113	54	34	15	50	37	13	30	15	42	662

(4) 病院・施設等への勤務状況（複数回答） (人)

区分	常勤	非常勤	ボランティア	その他	未回答	計
人数	68	419	55	100	20	662

※外部講師は非常勤に含む

(5) 音楽療法士として活動する中で困っていること（抜粋）

- ・コロナの影響で施設側の活動再開が難しい。使用する楽器も制限され、自由に声を出して歌うこともできないので、どのように活動すればいいのかわかっている。(18名)
- ・音楽療法士があまり認知されておらず、音楽療法だけでは収入が不安定。(11名)
- ・楽器や道具は全て個人負担のため、経済的な負担が大きい。(5名)
- ・後継者がいない(4名)
- ・これから仕事を始める療法士のために施設との契約の交わり方、報酬と税金、個人事業主の始め方などの講座があればいいと思う。
- ・音楽療法士同士で情報共有できる機会がほしい